



質的三層分析を用いた 話し合いの評価

担当 松本修先生

1班 降旗 八城 坂野 加藤 鎌田 樋口

質的三層分析

- 話し合い・発話の解釈が分析者によって異なる
- 恣意性から間主観性へ
- 三層からのアプローチ

三層とは

話し合いの内容を

- 1 形式的な特徴の分析
- 2 会話上の機能の分析
- 3 意味内容の分析

に分け、それぞれ検討する



分析手順

- 話し合いを録音する
- 音声データをプロトコルに起こす
- 質的三層分析を行う

分析対象

●グループでの話し合い

6月10日（金）

分析対象：学部生

「グリーングリーン」

●課題1

歌詞の1～7番の出来事の時間を分け、互いに理由をつけて、考えを説明し合いましょう。

●課題2

「ぼく」はこれからどうするのか、互いに根拠・理由を付けて、考えを説明し合いましょう。

演習 1

- 実際に音声を聞きながら、プロトコルを起こしてみましよう。

データのプロトコル作成演習

- 課題
- 79C 『あ、あの時 』
- 80B 『そう 』
- 81C 『 』
- 82B 『そう、 』
- 83D 『あ なるほど なるほどね なるほど』



データのプロトコル作成演習

- 課題 1
- 79C 『あ、あの時パパと約束したかな
「 」。なんか、このあの時がどうかかるか
「 」』
- 80B 『 「 」 そう 「 」 あたし』
- 81C 『 「 」 あの時守ったのか、あの時約束したのか。 「 」』
- 82B 『 「 」 そう（笑）、たかみは守ったを、に、かけたじゃん。わたし約束したにかけてた 「 」ん。 「 」 だからすごい、うん、おもしろいなと思った。』
- 83D 『 「 」 あ 「 」 なるほど なるほどね なるほど』

データのプロトコル作成演習

- 課題 1
- 79C 『あ。あの時パパと約束したかな：：。
なんか、このあの時がどうかかるか＝』
- 80B 『＝そう、／／あかし』
- 81C 『／／あの時守ったのか、あの時約束
したのか＝』
- 82B 『＝そう（笑）、たかみは守ったを、
にかけたじゃん。わたし約束したにかけてた
（3）ん。／／だからすごい、うん、おもしろ
いなと思った。』
- 83D 『／／あ：：なるほど、なるほどね、
なるほどー。』



演習 2

- プロトコルを基に質的三層分析を行ってみましょう

1 形式的な特徴

• 見て分かる特徴、パターンの読み取り

2 3 A: いや、古い順に並べるっていいんじゃない? 別に、出来事の時間を分けましょうだから、時間をわけると関係してっから (7) なんかよくわからんな (9) なんか1と2が: : (2) めっちゃ過去のこと話してて、/ / 3が今で: :

発話中に間が多い

6 1 C: ちょっといる、ちょっと違うかな。// //でもなんか話し聞いてて、すごい説得されたっていか// //納得した。なるほどって思った。

6 2 D: // // ちょっとね。

6 3 A: // // うん。

6 4 D: どころが。どれが=

オーバーラップが多い

2 会話上の機能

• 話し合いを進展させるため発話の機能

5 1 B:
() って
これやる、
泣くんじゃ
ないやろ？

次の課題提示
をし、新たな
展開を図る機
能

(笑)

前の発言を
肯定的に受
け止め、話
し合いを円
滑に推進す
る機能

4 1 D: えっと
() きーと一緒に
(中略) とちょっと
思ったり=
4 2 A: // はい。
4 3 A: // うん。
4 4 B: // うん。
4 5 C: // ん
4 6 A: = うん。

学習者間でのコ
ミュニケーショ
ンの確認ととも
に、会話を進行
させる機能

3 意味的な内容

● 発話の意味の内容

24C：なんでこんなにグリーングリーン言ってんのかなって。

25B：確かに。なんでグリーンなんだろうね。＝

26C：＝グリーンの要素がどこによって話的に？木を一本植えましたって（聞き取り不能）

27B：語り合ったところが丘だったんじゃない／／。丘の上に（聞き取り不能）

28C：／／あー。なるほど。その丘の風景がグリーンだったの

29B：そう。（笑）

28C：考えを深めながらメタ認知

ただし...

- 一つの発話の中に、3層のどれかが重なっている場合も...!

<形式>

イン

フォーマルな
だけた発話

<機能>

共感的な
同意の形
成

<内容>

発話を共
感しつつ
メタ認知

形式→機能→内容の順で分析

質的三層分析演習

- 79C『あ、あの時パパと約束したかな：：。なんか、このあの時がどうかかるか＝』
- 80B『＝そう／／あたし』
- 81C『／／あの時守ったのか、あの時約束したのか。＝』
- 82B『＝そう（笑）、たかみは守ったを、に、かけたじゃん。わたし約束したにかけてた（3）ん。／／だからすごい、うん、おもしろいなと思った。』
- 83D『／／あ：：なるほど なるほどね なるほど』

三層分析結果の提示

- **形式的**
くだけたインフォーマルな会話
- **機能的**
共感的な肯定的同意
- **意味的**
メタレベルでのコミュニケーション

話し合いの評価（1班）

- **形式的な特徴**

フォーマルからインフォーマルな話し合いへの変容

自由な発想が生み出せる環境

第1の話し合い

IB 43A-47A 66C

第2の話し合い

IB 5B 22B-23A

話し合いの評価（1班）

- 会話上の機能
肯定的な同意が多い

新たな話題や情報の提供が少ない

第1の話し合い

1B 9D-10B 65D 82B

第2の話し合い

8D 13A

話し合いの評価（1班）

- 意味的な内容
発話をメタ認知する場面が少ない

第1の話し合い

80B 82B

第2の話し合い

28C

話し合いの評価（1班）

- **総合評価**

話し合いに向けた環境作りができている

同意ばかりで表面上の理解で終わっている

もっと問いかけを増やした話し合いを行うべき

話し合いの評価（4班）

- 形式的な特徴

A主体の話し合い

思考のための沈黙が多い

第1の話し合い

4A 20A 19C 32C 42A

第2の話し合い

IA

話し合いの評価（4班）

- 会話上の機能

話し合いを進めようとする発話が多い

Aによる話題提供が多く、それについて議論することが多い

第1の話し合い

4A 6A 20A 33A

第2の話し合い

15C

話し合いの評価（4班）

- 意味的な内容

Aにメタ認知を促す発話が多い

※話し合いの本題については全く
話されていない

第1の話し合い

28A 30A 38A 40A

第2の話し合い

10A 12A 31A 33A

話し合いの評価（4班）

- **総合評価**

話し合いとしては非常に効果的に

話し合いがなされている

話し合いの本題についての話し合

いはほとんどない

話し合いのテーマについて共有し

てから話し合いに入るべき

最後に

- 話し合いを聞いていて思った主観的な評価を根拠付けができた
- 次回話し合いを効果的にするための手段として活用できる

参考文献

- 松本修：国語科教育研究における話し合いプロトコルの質的三層分析：上越教育大学学習臨床講座
- 松本修：『文学の読みと交流のナラトロジー』，東洋館，2006